

No.61 開国	年 組
	氏名

/9 問

次の () に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

1 1853年、4隻の軍艦を率いて浦賀(神奈川県)に入港した、アメリカ東インド艦隊の司令長官は(①)である。



(①)

2 1854年、再び来航した(①)との間で(②)が結ばれ、日本は(③)(静岡県)・函館(北海道)の2港を開くことなどを認めた。

3 (②)を結んだことによって、長い間続いた鎖国政策はくずれ、(④)することになった。

4 1858年、アメリカとの間で右の(⑤)が結ばれ、日本は函館、神奈川(横浜)、(⑥)、新潟、兵庫(神戸)の5港を開いて自由な貿易を行うことになった。

5 (⑤)では、日本で犯罪を行った外国人は、その外国人が属する国の法律で裁判が行われるという(⑦)を日本が認める内容だった。

6 (⑤)では、日本に(⑧)がなく、貿易品にかかる関税を自国で決めることも認める内容だった。

7 日米修好通商条約は、アメリカに(⑦)を認め、日本に(⑧)がないなど、日本にとって不利な内容をふくむ(⑨)条約だった。

第3条 下田・函館のほか、神奈川、(⑥)、新潟、兵庫を開港すること。…
第4条 全て日本に対して輸入する商品は別に定めるとおり、日本政府へ関税を納めること。…
第6条 日本人に対して法を犯したアメリカ人は、アメリカ領事裁判所において取り調べのうえ、アメリカの法律によってばっすること。
 (部分要約)

【解答】

- ① ペリー
- ② 日米和親条約
- ③ 下田
- ④ 開国
- ⑤ 日米修好通商条約
- ⑥ 長崎
- ⑦ 領事裁判権
- ⑧ 関税自主権
- ⑨ 不平等

二つの条約の内容を比べて、それぞれの内容の違いを整理しよう。

